

[添付資料①]

《「おいしい!広島県×おいしい!中国道」山陽道渋滞回避キャンペーン》

山陽道の交通を中国道に分散させ、山陽道の渋滞を緩和させることを目的に、4月27日(土曜)～5月6日(月曜)までの10日間限定で「おいしい!広島県×おいしい!中国道」山陽道渋滞回避キャンペーンを実施します。

このキャンペーンは、広島県様が昨年から開始した観光プロモーション「おいしい!広島県」の趣旨「魅力的な観光資源があるのに全国の人に知られていない。実に、おいしい!」を酌んで、広島県内を約140kmにわたって通過する中国道の魅力を「おいしい!中国道」としてお伝えし、山陽道と比較すると渋滞の少ない中国道を選択頂く方を増やすことで、結果的に山陽道の渋滞緩和や事故削減を図るものです。

キャンペーンへは、中国道赤松PA(兵庫県)から安佐SA(広島県)までのSAPAに1箇所以上立寄って頂き、トイレ前等に掲示しております「QRコード」を携帯電話やスマートフォン等で読み取り後、空メールを送信、走行終了後のアンケートへの回答をもって「参加」となります。

参加された方のうち有効回答を頂いた方の中から抽選で100名様に5,000円分の商品券を進呈させていただきます。詳しくは、3月29日に開設します専用ウェブサイト(<http://www.jyutai.net/>)をご覧ください。



参加方法はコチラ!

STEP 1  **中国道 (赤松PA至安佐SA間)を走る!**

STEP 2  **SA・PAに立ち寄る!**

STEP 3  **トイレの前のQRコードを読み取る!**

STEP 4  **空メールを送信!**

STEP 5  **自動送信されるアンケートに答える!**
※個人情報の入力にご理解いただける方のみご参加下さい。

(広島 JCT⇄神戸 JCT 間でGW 期間中に予測しているピーク時 5km 以上の交通集中渋滞回数)

		5～9km	10～19km	20km以上	合計
山陽道経由	下り(広島方向)	8回	5回	1回	14回
	上り(大阪方向)	8回	6回	2回	16回
合計		16回	11回	3回	30回
中国道経由	下り(広島方向)	0回	0回	0回	0回
	上り(大阪方向)	0回	0回	0回	0回
合計		0回	0回	0回	0回

《経路選択等に関するお役立ち情報》

【山陽自動車道・中国自動車道】

5月3日(金曜)は、広島JCT(広島市)から神戸JCT(神戸市)まで山陽道経由の場合、午前中から午後にかけて、八本松TN付近(広島県東広島市)で25km、坂田TN付近(広島県福山市)で10km、阿坂TN付近(岡山県浅口市)で5km、二子TN付近(岡山県倉敷市)で5kmの交通集中渋滞がピーク時に発生すると予測しており、各渋滞を通過するのにピーク時は15分から1時間15分程かかると見込んでおります。

広島JCTから神戸JCTまで中国道経由の場合、ピーク時 5km以上の交通集中渋滞が発生しないと予測しております。広島東IC以西から神戸JCT以东へ向かわれる方は中国道経由もご検討ください。

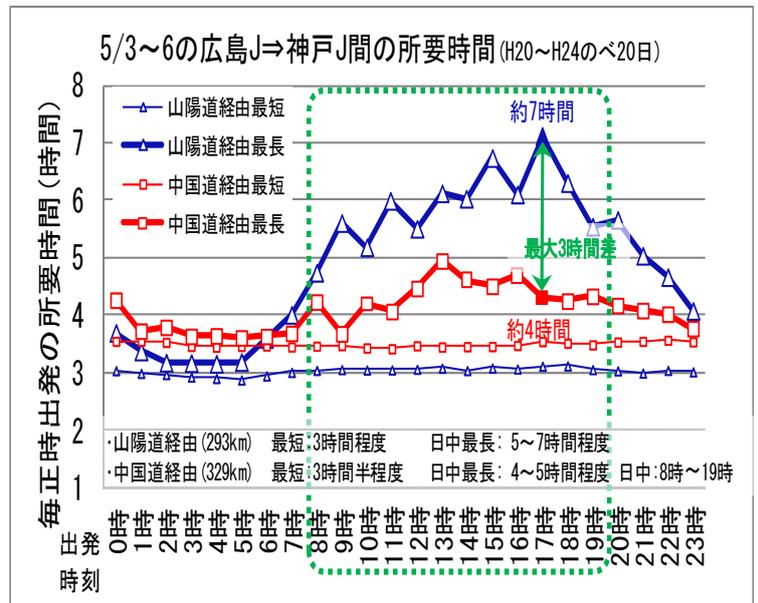
なお、中国道経由の場合、夜間約140km先まで給油できない箇所がありますので、燃料切れには十分ご注意ください。(最長給油所間距離 中国道経由:七塚原SA~勝央SA間 137km,山陽道経由:吉備SA~龍野西SA間 65km) 詳しくは、(<http://www.w-holdings.co.jp/gasoline/250201west.pdf>)をご覧ください。

(5月3日(金曜))に山陽道と中国道の上り線(広島から大阪方向)で予測しているピーク時 5km以上の渋滞)



過去のGW期間(平成20年~24年の5月3日~6日のべ20日間)の実績では、広島JCT(広島市)を出発し、**山陽道経由**で神戸JCT(神戸市)まで走行(293km)した場合、**順調時は3時間程度**で到着できていましたが、**事故等による渋滞の影響を受けた時は最長で7時間程度**かかりました。

一方、同一区間を同時刻に出発し、広島北JCTから**中国道経由**で走行(329km)した場合、**順調時は3時間半程度**と山陽道経由より30分程度長くかかりましたが、**ほとんど渋滞の影響を受けなため、最長でも4時間から5時間程度**で到着できており、**山陽道経由より最大で3時間程度早く到着**(17時出発の場合)できていました。



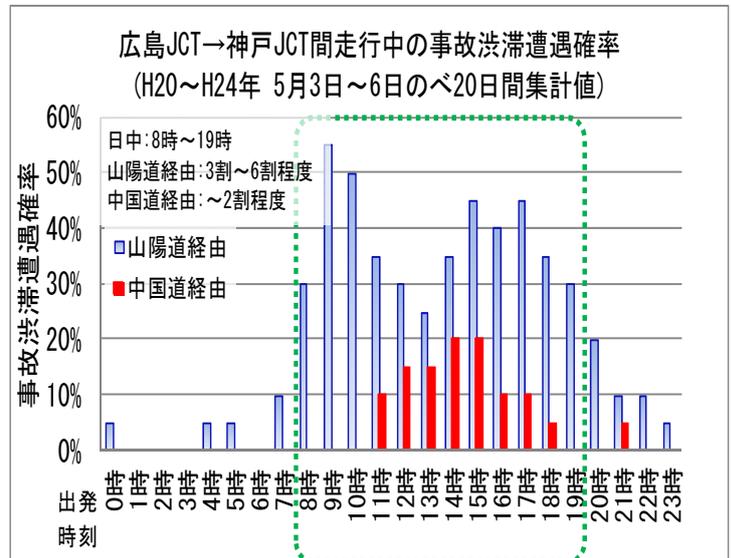
所要時間は車両感知器データを基に算出した値で事故等の影響を含みます。

また、同期間(過去 5 年の GW)に広島 JCT から神戸 JCT 間を走行する間に事故渋滞に遭遇した確率を山陽道経由で走行した場合と中国道経由で走行した場合とで比較したところ、日中時間帯(8 時から 19 時まで)に出発した場合、山陽道経由では概ね 3 割～6 割でしたが、中国道経由では最大でも 2 割程度でした。

中国道経由は山陽道経由に比べて、事故渋滞に巻き込まれる確率が低いですので、中国道経由もご検討ください。

なお、**実際に経路選択される際には「アイ ハイウ**

エイ(<http://ihighway.jp>)で各経路の最新の交通情報をご確認ください。

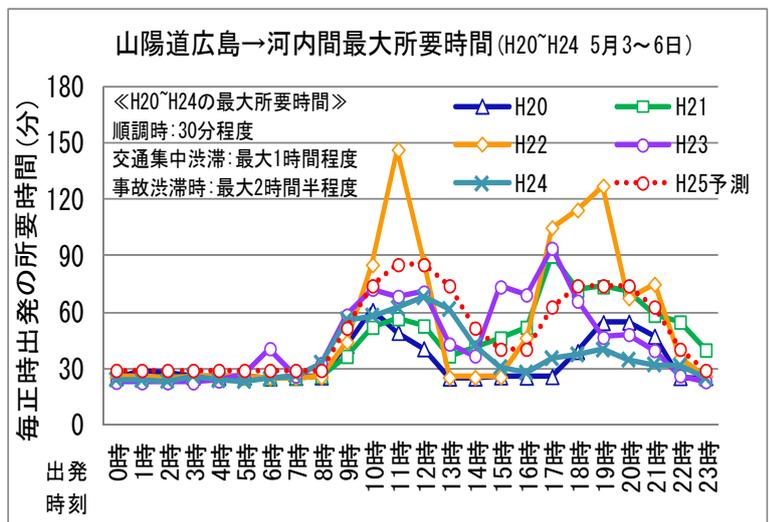


事故渋滞遭遇確率とは、指定した区間を走行中に事故渋滞に巻き込まれた確率のことと定義し、過去の渋滞実績データ等から計算したものです。

《広島 IC から広島空港へ向かわれる方へ》

山陽道で広島ICから広島空港最寄りの河内ICまで(39km)走行した場合、過去 5 年間のGW期間(平成 20 年～24 年の合計 20 日間)の実績では**順調時 30 分程度**で到着できていましたが、**10km程度の渋滞が発生した場合は最大 1 時間程度**かかりました。なお、**20kmを超える事故渋滞に巻き込まれた場合は、最大で 2 時間半程度**かかりました。

GW 期間は特に 5 月 3 日、4 日、5 日の午前中から夜間にピーク時 15km～25km の交通集中渋滞を予測していますので、最大 1 時間半程度かかるものと見込んでおります。



所要時間は車両感知器データを基に算出した値で事故等の影響を含みます。

同期間(過去 5 年のGW期間)の午前(9 時～12 時)と夕方(15 時～20 時)に広島ICを出発した場合に事故渋滞に遭遇した確率は 1 割から 3 割程度であり、マイカーやリムジンバス等で移動される際は、**搭乗予定の便に乗り遅れないためにも相当の時間的余裕を持たれることをおすすめします。**

なお、広島駅から鉄道と連絡バスで広島空港まで向かわれる場合の所要時間は約 1 時間程度(乗り継ぎ時間は含まず)です。

詳しくは広島空港のウェブサイト

(<http://www.hij.airport.jp/access/route/jr.html>)

をご覧ください。

